

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 105p

大事業名	障害児福祉事務事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり			[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実			
	施策	障害者(児)福祉の充実			[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略				
個別計画				[その他]	

1.概要

事業内容	児童福祉法に基づき、障害児が身近な地域で適切な支援が受けられるよう、サービス利用に係る障害児通所支援給付費を支給する。
対象	障害児
意図・目的	障害児通所支援サービス等に係る費用を給付することにより、障害児等の生活支援を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 障害児通所支援等事業	障害児福祉施策として、身近な地域における支援を充実させるため、障害児通所サービス等の充実を図る。	9,752	13,158	9,877

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

事業の周知とともに、年々利用者が増加しており、保護者のニーズに合ったサービスを提供した。  
(利用実人数：平成26年度 13人、平成27年度 17人、平成28年度 23人)

- ・障害児相談支援 30件
- ・児童発達支援 80件、409日
- ・医療型児童発達支援 1件、2日
- ・放課後等デイサービス 154件、796日

※件数は月毎延件数

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理		
現状の課題	事業内容	無	
	費用対効果	無	
	進捗管理	無	
中長期的な課題	事業内容	有	今後の利用者増加と幅広いニーズに答えるためには、町内に複数の事業所の存在が望ましい。 平成28年度中の事業所利用実績によると、町内1事業所に対して町外11事業所となっている。
	費用対効果	無	
	進捗管理	無	

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

制度改正等に基づき、利用者の増加と利用者ニーズを踏まえた事業展開が必要である。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
 決算書 117p

大事業名	吉川保育所管理事業	款 項 目		
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川保育所の施設・設備等の修繕や改修等を行う。
対象	吉川保育所の施設・設備・備品等
意図・目的	吉川保育所の施設・設備等の適正な維持・管理及び児童の保育環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 吉川保育所管理事業	吉川保育所の施設・設備の保守及び修繕	1,088	1,254	0
2 吉川保育所施設管理円滑化事業	既存消防設備の修繕、消火器等の取替 消防法令改正による火災通報装置新設工事 幼児用トイレ改修	669	800	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設・設備の改善や改修等を行うことにより、保育環境の充実を図ることができた。

〈主な経費〉

・施設設備等保守管理委託	105,600円	・施設修繕	793,993円
・施設設備等清掃委託	246,240円	・植木剪定及び除草業務委託	131,760円
・火災通報装置新設工事	381,240円		
・幼児用トイレ改修工事	272,592円	(便座のウォームレット化：1階トイレ3箇所、2階トイレ2箇所の計5箇所)	

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	進捗管理	有	保育所職員休憩室の確保	衛生管理を適切に行うため、保育所職員と給食調理員の使用を区別する必要がある。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	施設の修繕・改修や設備の更新	施設・設備の老朽化
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設・設備の保守・点検等により、修繕等が必要な箇所について対策を実施し、適正管理を図る。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 117p

大事業名	吉川保育所運営事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援サービスの充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川保育所における保育の実施や施設の運営に関する事業
対象	0歳から小学校就学前の在籍児童
意図・目的	児童が健康で安全な生活ができ、集団生活に適應できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 吉川保育所運営事業	保育の実施、施設の運営 給食調理委託	16,410	27,851	2,234
2 吉川保育所備品買替事業	児童用衣類乾燥機1台	127	48	0
3 吉川保育所遊具等購入事業	遊具等整備(小型雲梯1台、跳躍版1台)	0	194	194

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な保育の実施を行い、児童の健全な心身の発達に資することができた。</li> <li>・児童(2号・3号保育)の在籍状況(平成28年度末現在) 0歳児4人、1歳児15人、2歳児11人、3歳児21人、4歳児16人、5歳児25人、計92人 (主な経費) ・給食調理委託業務 11,340,000円 ・遊具整備:小型雲梯 156,600円 跳躍板 37,800円 ・児童用衣類乾燥機 47,520円</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A:各小事業について計画どおりに進めることが必要 B:小事業について、事業の進め方に改善が必要 C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	---

6.改善の方向性

--

## H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 121p

大事業名	留守家庭児童育成室管理事業	款	項	目
		民生費	児童福祉費	育成室運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		
	総合戦略			
個別計画			[その他]	

### 1.概要

事業内容	留守家庭児童の居場所を確保し、適切な保育を実施する。
対象	留守家庭の小学生
意図・目的	保護者の就労等により、放課後に留守家庭となる小学校1年生から6年生の児童について健全な育成を図ることを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 留守家庭児童育成室管理事業	小学校の放課後に家庭において監護(保育)に欠ける1年生から6年生の入室希望児童を留守家庭児童育成室に入室させ、遊び、生活の場を通じて健全な育成を図る。	1,296	1,426	1,413
2 留守家庭児童育成室管理円滑化事業	東ときわ台留守家庭児童育成室 空調機更新(広間2台、和室1台)	0	600	0

### 3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

- ・安心して働けるよう、子育て支援環境の充実を図り、児童の健全な育成を図ることができた。
- ・児童の在籍状況(平成28年度末現在) (単位:人)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	計
東能勢育成室	8	9	2	2	0	21
光風台育成室	12	7	4	4	2	29
東ときわ台育成室	12	6	16	4	3	41
計	32	22	22	10	5	91

※6年生は実績なし。

〈主な経費〉東ときわ台育成室空調機3台更新工事 600,000円

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

### 5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 161p

大事業名	教育委員会運営事業		教育総務費		教育委員会費
	教育費	教育費	教育費	教育費	教育費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	学校教育の充実		[その他]	
	総合戦略				
個別計画					

1.概要

事業内容	教育委員会会議の開催、学校園所視察訪問、研修等
対象	教育長及び委員（4名）
意図・目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、豊能町教育行政の推進に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 教育委員会運営事業	教育委員会会議の開催、教育委員研修等	747	804	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

教育委員会会議の開催や学校園所への訪問視察を行うなど、本町の教育行政の推進に資することができた。

- ・ 定例会、臨時会の開催：年13回開催
- ・ 学校園所訪問視察：小学校4校、中学校2校、保育所、幼稚園、認定こども園
- ・ 委員研修・研究会 年5回
- ・ 各種行事への出席：入学式、卒業式、運動会、体育祭等
- ・ 総合教育会議への出席

〈主な経費〉

- ・ 教育委員会委員報酬 4名 600,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容	費用対効果
現状の課題	有	小中一貫教育等の推進	保育所・幼稚園・認定こども園から小学校及び中学校までの段差解消等を図り、子どもの成長過程に応じた教育が求められている。
	無		
	無		
中長期的な課題	無	委員構成の適正化	幅広い年齢層で構成し、教育行政に関し多様な意見をくみ取る必要がある。
	有		
	無		

5.総合評価

**B**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

小中一貫教育等の推進を図るなど、本町の教育行政の発展に取り組む。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 163p

大事業名	款		項		目	
	教育費		教育総務費		事務局費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]		
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]		
	施策	学校教育の充実		[その他]		
	総合戦略					
個別計画						

1.概要

事業内容	学校園の横断的な管理業務
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園に関する全体的な施設管理、安全対策及び人事管理等を行うなど、学校園の円滑な運営を支援することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 学校園管理事業	豊能地区教職員人事協議会関係事務、外国人青年招致事務、学校園の施設明定、通学路交通安全対策、教育総務事務等	3,172	4,202	17
2 小中一貫教育等充実検討事業	小中一貫教育等研修会の開催	257	37	0
3 PCB含有廃棄物処理事業	学校で使用していたPCB含有廃棄物(変圧器)を環境省指定の専門業者において処分する。	0	1,400	0
4 ガス漏警報器更新事業	東地区の学校・園である東能勢小学校、東能勢中学校、ふたば園において、ガス漏れ警報器を更新する。 (東能勢小38台、東能勢中40台、ふたば園8台)	0	775	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

小・中学校・幼稚園の円滑な運営に資することができた。

(主な経費)

- ・学校園の剪定等(業務委託料) 1,269,600円
- ・学校園の支障木伐採(業務委託料) 638,280円
- ・大阪府豊能地区教職員人事協議会負担金 464,000円
- ・保幼小中一貫教育推進会議研修会(7月開催) 講師謝金 16,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	学校の負担軽減	教職員の業務量の増加
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

学校の負担軽減に向けた対策を検討する。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
 決算書 165p

大事業名	学校園保健衛生事業	款 項 目		
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	学校園の児童生徒及び教職員の健康診断等の実施
対象	小中学校、幼稚園、認定こども園
意図・目的	学校園における児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図るなど、安全・安心な学校園の運営に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 学校園保健衛生事業	学校園の児童生徒及び教職員等の健康診断等、学校保健に関する事業を行う。	12,842	12,933	503

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

就学時・就園前健診、学校健診及び教職員健診等を実施するなど、学校園の安全・安心な運営に資することができた。

- ・就学時・就園前健診：東西地区 各1回実施（11月）
- ・学校健診：4月～7月実施
- ・歯みがき指導：6月・11月実施
- ・教職員健診：7月～8月実施
- ・脊柱側弯症検診：12月実施

〈主な経費〉

- ・学校医報酬(その他報酬) 7,115,900円
- ・薬剤師報酬(その他報酬) 540,000円
- ・児童生徒の健康診断等委託 2,013,088円
- ・教職員健診委託料 1,166,193円
- ・学校給食調理関係検便検査委託 208,780円
- ・スポーツ振興センター災害共済負担金 1,086,860円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
 決算書 165p

大事業名	就学援助事業	項 目		
		款 教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対する学用品購入等に係る援助を実施する。
対象	小中学校の児童生徒のうち、経済的な理由で就学困難な者
意図・目的	小中学校の児童生徒の就学支援を行い、教育の機会均等を図る。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 就学援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費等を援助費として給付する。	8,035	7,002	193

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

子供の就学援助に資することができた。 ・平成28年度における就学援助の状況：小学生59人、中学生35人、合計94人 (主な経費) ・要保護・準要保護の就学援助(扶助費)7,002,396円
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	有	就学援助の要件に該当する家庭への入学前支給	本町の現行就学支援制度では小学校就学前の児童は対象としていない。
	有	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

C	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

小学校入学前における就学支援の実施に向け検討する。
---------------------------



H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 169p

大事業名	子ども・子育て支援事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実			[その他]
個別計画	子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	幼稚園、保育所、認定こども園の保育認定及び保育給付、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理等を行う。
対象	主に就学前の子ども
意図・目的	子ども・子育て支援法等に基づき、幼児期の教育・保育や地域における多様な子ども・子育て支援の充実を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援新制度による教育・保育給付事業等を実施するとともに、豊能町子ども・子育て支援事業計画の進行管理を行う。	9,885	11,706	4,274
2 子ども・子育て支援システム改修事業	教育・保育給付事務を円滑に行うため、国の制度改正に対応できるよう、子ども・子育て支援システムを改修する。	0	864	432

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育給付等を円滑に実施した。</li> <li>・豊能町子ども・子育て支援事業計画に掲げている子ども・子育て支援の取組状況について、豊能町子ども・子育て審議会（1月開催）において審議することができた。</li> <li>・システムの改修を行い、円滑な給付事務を資することができた。</li> </ul> <p>〈主な経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育給付費負担金 7,068,680円</li> <li>・豊能町子ども・子育て審議会委員報酬（8名分） 56,000円</li> <li>・子ども・子育て支援システム改修委託 864,000円</li> </ul>
--

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無	豊能町子ども・子育て支援事業の拡充	専門的な人員、施設の不足
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

二一ズに対応できるよう環境の整備や関係機関と連携を検討する。
--------------------------------

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 169p

大事業名	奨学資金貸与事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	奨学費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	
	施策	学校教育の充実	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造	
個別計画			

1.概要

事業内容	奨学資金の貸与
対象	高等学校、大学等に在学する学生
意図・目的	経済的理由のために高等学校以上の修学が困難と認められる者に対し、奨学資金を貸与することにより教育機会の確保を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 奨学資金貸与事業	高等学校・大学・高等専門学校等の在学生及び新年度入学生のうち、経済的理由のために就学困難と認められる者を対象に奨学資金を貸与する。	3,852	2,964	2,964

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

奨学資金を貸与することにより教育機会の確保に資することができた。

○貸与件数、貸与額

高校生	6名	864,000円
大学生	6名	1,800,000円
専修学校生	1名	300,000円
計	13名	2,964,000円

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	他の奨学金制度との役割の差別化 貸与型でない就学支援制度の検討
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>C</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

教育行政が運営すべき奨学金制度の再構築を図る。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 169p

大事業名	小学校管理事業	款 項 目		
		教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		
	施策	信頼される学校づくり		
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	町立小学校の施設・設備の整備及び維持管理、小学校給食調理委託等
対象	町立小学校の施設
意図・目的	町立小学校4校の施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 小学校管理事業	町立小学校4校の施設・設備の保守及び維持管理等、小学校給食調理委託	27,434	49,857	0
2 小学校施設整備事業	吉川小学校校舎、体育館の耐震補強工事 町立4小学校の消防設備の経年劣化による修繕等。 (消火器の更新、誘導灯及び誘導標識、屋内消火栓設備、自動火災報知機、ガス漏れ火災警報設備、防排煙設備、非常警報設備の修繕等)	22,513	128,570	120,554
3 東ときわ台小学校給食室食器洗浄機更新事業	東ときわ台小学校 給食食器洗浄機1台5年リース方式による更新。	0	556	0
4 学校安全対策事業	民間事業者による、児童の登下校時に保護者へメール配信サービスに対し、施設整備補助を行い、小学校全校において当該サービスを利用できる環境を整える。	0	846	0
5 小学校賠償事業	児童の学校活動中の事故による被害者への損害賠償	0	2	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。</li> <li>吉川小学校の耐震補強を行ったことにより、全小学校の施設の耐震化を図ることができた。</li> </ul> <p>〈主な経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉川小学校耐震補強工事 125,135,280円</li> <li>東ときわ台小学校給食食器洗浄機リース料 555,984円(期間H29年1月～H33年12月、総額11,119,680円)</li> <li>小学校給食調理委託業務(4校) 38,662,920円</li> <li>学校施設等修繕料 7,469,391円</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	進捗管理	有	施設・設備における補修 (雨漏り、プール漏水等)	各施設・設備の老朽化・経年劣化 施設営繕の技師が常勤でないため、迅速な対応等が困難な場合がある。
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

施設の非構造物についても対策を検討する。
----------------------

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 171p

大事業名	東能勢小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	東能勢小学校の運営
対象	東能勢小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 東能勢小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,306	7,597	3

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（平成28年5月1日現在）
	1学年 1学級 22人
	2学年 1学級 36人
	3学年 1学級 20人
	4学年 1学級 25人
	5学年 1学級 38人
	6学年 1学級 38人
	計 6学級 179人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 171p

大事業名	吉川小学校運営事業		款	項	目
			教育費	小学校費	学校管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	学校教育の充実		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

1.概要

事業内容	吉川小学校の運営
対象	吉川小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 吉川小学校運営事業	学校運営に関する経費	6,121	6,341	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（平成28年5月1日現在）
	1学年 1学級 12人
	2学年 1学級 17人
	3学年 1学級 9人
	4学年 1学級 17人
	5学年 1学級 10人
	6学年 1学級 17人
	計 6学級 82人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

## H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

教育総務課  
173p

大事業名	光風台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

### 1.概要

事業内容	光風台小学校の運営
対象	光風台小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 光風台小学校運営事業	学校運営に関する経費	12,780	12,748	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

光風台小学校の円滑な運営に資することができた。	在籍児童数（平成28年5月1日現在）
	1学年 1学級 31人
	2学年 2学級 41人
	3学年 1学級 27人
	4学年 2学級 44人
	5学年 1学級 39人
	6学年 1学級 35人
	計 8学級 217人

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

<b>A</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

### 6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 173p

大事業名	東ときわ台小学校運営事業	款	項	目
		教育費	小学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	東ときわ台小学校の運営
対象	東ときわ台小学校
意図・目的	小学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 東ときわ台小学校運営事業	学校運営に関する経費	8,373	8,060	20

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東ときわ台小学校の円滑な運営に資することができた。在籍児童数（平成28年5月1日現在）			
1学年	1学級	23人	
2学年	1学級	14人	
3学年	1学級	30人	
4学年	1学級	34人	
5学年	1学級	31人	
6学年	1学級	31人	
計	6学級	163人	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 175p

大事業名	小学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	小学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動費等
対象	町立小学校
意図・目的	小学校教育課程において必要な備品を整備して学習環境を整えること、また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 小学校教育振興事業	町立小学校4校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等	16,171	16,901	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>小学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。</p> <p>〈主な経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興備品購入（教材費） 1,014,755円</li> <li>・情報機器の更新に係る機器使用料（機械器具使用料） 15,811,476円</li> <li>・各団体負担金（負担金） 75,145円</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	有	授業における情報機器類の活用	情報機器類の充実
	有	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>情報機器類の充実に向け検討する。</p>
-------------------------



H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

教育総務課  
175p

大事業名	中学校管理事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	信頼される学校づくり		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	町立中学校の施設、設備の整備及び維持管理、中学校給食調理委託等
対象	町立中学校の施設
意図・目的	町立中学校2校の施設の改修工事等を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全を確保することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 中学校管理事業	町立中学校2校の施設・設備の保守及び維持管理、中学校調理委託等	32,152	30,280	0
2 中学校施設整備事業	中学校施設・設備の補修等工事及び修繕(東能勢中学校グラウンド体育倉庫周辺雨水排水改修工事、吉川中学校消防設備補修工事等)	31,055	2,125	0
3 新規採択教科書関連図書購入事業	平成28年度より使用する新規採択教科書の教師用指導書等の購入	0	2,317	0
4 中学校賠償事業	生徒の学校活動中の事故による被害者への損害賠償	0	6	6

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。</li> <li>中学校給食調理委託については、生徒の満足度の向上を図るため、メニューの工夫等に取り組んだ。</li> </ul> <p>〈主な経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉川中学校消防設備補修工事 1,299,240円</li> <li>中学校給食調理委託業務 25,086,720円</li> <li>新規採択教科書関連図書購入 2,316,365円</li> <li>中学校施設等修繕 2,724,438円</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	各施設・設備の老朽化・経年劣化 施設営繕の技師が常勤で配置できていないため、迅速な対応等が困難である。 中学校給食については、メニュー、温度、味付け等に課題がある。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>施設の非構造物についても対策を検討する。</p> <p>給食については、食育の観点や栄養バランスを考慮しつつ、メニューを工夫するなど、改善に取り組むとともに、食育を推進する。</p>
--

## H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
教育総務課  
177p

大事業名	東能勢中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	東能勢中学校の運営
対象	東能勢中学校
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにすることを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 東能勢中学校運営事業	学校運営に関する経費	6,349	6,580	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

東能勢中学校の円滑な運営に資することができた。			
在籍生徒数（平成28年5月1日現在）			
1学年	1学級	28人	
2学年	2学級	43人	
3学年	1学級	29人	
計	4学級	100人	

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

### 5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 177p

大事業名	吉川中学校運営事業	款	項	目
		教育費	中学校費	学校管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	吉川中学校の運営
対象	吉川中学校
意図・目的	中学校での授業や行事等の学校活動が円滑に実施できるようにすることを目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 吉川中学校運営事業	学校運営に関する経費	10,122	9,690	70

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

吉川中学校の円滑な運営に資することができた。	在籍生徒数（平成28年5月1日現在）
	1学年 3学級 106人
	2学年 3学級 108人
	3学年 3学級 104人
	計 9学級 318人

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
 決算審 179p

大事業名	中学校教育振興事業	款	項	目
		教育費	中学校費	教育振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	教材備品の整備、情報教育機器の整備、教科研究活動費等
対象	町立中学校
意図・目的	中学校教育課程において必要な備品を整備して学習環境を整えること、また、研究会の実施により、教育の向上を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 中学校教育振興事業	町立中学校2校で各種授業や課外活動等において使用する補助教材の整備等	1,856	9,720	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

中学校教育課程に係る教材備品を整備するなど、学習環境の充実に資することができた。 (主な経費) ・教育振興備品購入(教材費) 502,000円 ・理科振興備品購入(教材費) 333,180円 ・情報機器の更新に係る機器使用料(機械器具使用料) 8,712,048円 ・各団体負担金(負担金) 172,800円
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	無	有	授業における情報機器類の活用	情報機器類の充実
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

情報機器類の充実に向け検討する。
------------------

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 179p

大事業名	ひかり幼稚園管理事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園の設備・整備の維持管理
対象	ひかり幼稚園の施設
意図・目的	ひかり幼稚園施設の適正な維持・管理により、環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 ひかり幼稚園管理事業	ひかり幼稚園の施設・設備の保守管理及び修繕等	568	711	0
2 ひかり幼稚園施設管理円滑化事業	消火器の更新(7本)と消防設備(非常口誘導灯など)の修繕	0	245	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

施設の維持管理及び施設の修繕・改修を行い、教育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

(主な経費)

- 施設修繕 567,324円
- 施設設備等保守管理委託 27,000円
- 施設設備等清掃委託 30,240円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	補修必要箇所の増加(雨漏り等)
事業内容	有		
費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

施設の点検等を行い、緊急性の高い箇所から修繕・改修に向け検討する。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 179p

大事業名	ひかり幼稚園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	ひかり幼稚園における教育保育事業
対象	園児
意図・目的	教育課程に基づき、教育目標を達成するために年齢に応じた適切な教育内容、教育環境を整え教育活動を行うことを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 ひかり幼稚園運営事業	ひかり幼稚園運営経費	2,926	2,777	1,036
2 ひかり幼稚園備品買替	子ども用テーブル3台買替	81	81	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園での教育や行事等の園の活動を円滑に実施することができた。</li> <li>・園児（1号教育）の在籍状況（平成28年度末現在） 3歳児22人、4歳児35人、5歳児46人、計103人 〈主な経費〉</li> <li>・備品買替事業 子ども用テーブル3台 81,000円</li> </ul>
---

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 181p

大事業名	ふたば園管理事業		
	款	項	目
	教育費	幼稚園費	幼稚園管理費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実	
	施策	子育て支援環境の充実	[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略		
個別計画			[その他]

1.概要

事業内容	ふたば園の設備・整備の維持管理
対象	ふたば園の施設
意図・目的	ふたば園施設の適正な維持・管理により、環境の充実を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 ふたば園管理事業	ふたば園の施設・設備の保守管理及び修繕等	1,492	1,576	16
2 ふたば園施設管理円滑化事業	消防法改正に伴う火災通報装置の新設、既設消防設備の修繕、消火器の更新、ホール及び園庭放送設備の補修工事等	928	881	0
3 ふたば園遊具購入事業	滑り台1台購入	0	81	81

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の維持管理及び施設の修繕・改修等を行い、教育保育環境の維持を図るとともに、施設の安全に資することができた。

〈主な経費〉

・施設設備等保守管理委託	246,600円	・施設修繕	575,879円
・施設設備等清掃委託	254,998円	・火災通報装置新設工事等	381,240円
・放送設備補修工事	367,200円	・遊具等整備：滑り台1台	81,000円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育総務課  
決算書 181p

大事業名	ふたば園運営事業	款	項	目
		教育費	幼稚園費	幼稚園管理費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	ふたば園における教育保育事業
対象	園児
意図・目的	園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1  ふたば園運営事業	ふたば園の運営経費、給食調理委託	14,608	25,696	3,187

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児が健康で安全な生活ができ、集団生活に適応できるよう心身の発達を図ることができた。</li> <li>・給食調理委託を円滑に実施することができた</li> <li>・園児の在籍状況（平成28年度末現在） 1号(教育)：3歳児10人、4歳児6人、5歳児12人、計28人 2・3号(保育)：0歳児6人、1歳児8人、2歳児7人、3歳児11人、4歳児13人、5歳児14人、計59人 合計87人</li> </ul> <p>〈主な経費〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食調理委託業務 11,340,000円</li> </ul>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--



H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 119p

大事業名	款	項	目
子育て支援センター運営事業	民生費	児童福祉費	児童福祉施設費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすいまちだと思ふ割合 70%
	施策	子育て支援サービスの充実		ファミリーサポートセンターの会員登録数 120件
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実		[総合戦略(目標年度H31)]
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育ての支援を行う。また、拠点事業を発展させ、母子保健事業と連携し、アウトリーチ型の早期家庭訪問を行う。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	育児不安の解消・育児負担の軽減・乳幼児期の親子の愛着形成の構築

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 子育て支援センター運営事業	・施設開放 ・育児講座 ・子育て教室 ・家庭訪問型子育て支援 ・育児相談・電話相談 ・子育てサークル支援 ・関連機関との連携	387	559	198
2 ファミリーサポートセンター運営事業	・育児講座 登録会員の研修実施 ・ファミリーサポート	131	108	0
3 家庭訪問型早期子育て支援事業	母子保健事業と連携し妊娠から誕生・4カ月を対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施する。赤ちゃんが生まれた家族が安心して子育てができ、親子の愛着の絆を結べるようヘルシースタートプログラムの学びを基本とし切れ問のない家庭訪問型子育て支援を実施する。	756	799	799

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児に必要な情報をタイムリーに提供し、母子に寄り添う支援をすることで育児不安の軽減や産後のうつ防止を図り安心して子育てができるように支援を行った。</li> <li>・早期から母子保健と連携し関わることで、孤立感を軽減することができ、乳幼児相談や施設開放などの拠点事業の利用が促進された。</li> </ul>
---

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	・地域の子育て、親育ちのワンストップ型の整備。
事業内容	有	・ファミリーサポートセンターの会員数の減少	
費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	・地域の子育て、親育ちのワンストップ型の整備。
	事業内容	有	・家庭支援を必要とする場合、具体的な支援の委託。
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代包括支援センターを平成30年度設置に向け体制を整える。</li> <li>・ファミリーサポートセンターの会員募集の為、積極的に広報・周知に努める。</li> </ul>
---

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 165p

大事業名	学校教育充実事業		款	項	目
			教育費	教育総務費	事務局費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%	
	施策	学校教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う住民の割合 70.0%	
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画		[その他]		

1.概要

事業内容	学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導方法の研究及び特色ある学校づくりの推進
対象	児童・生徒、教職員
意図・目的	学習指導要領の適切な実施のための指導力向上および特色ある教育の推進

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 学校教育充実事業	学校教育の充実を図るため、学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導法の研究や特色ある学校づくりを推進する。	438	522	0
2 教職員研修充実事業	人事権移譲に伴い、府で実施していた研修の多くを豊能地区と町独自で実施する。大阪府実施で豊能地区に開講されない講座を精選し、町独自では50講座の研修を実施する。府への研修参加は、実績を踏まえ1人1回2000円の負担金の予算措置が必要である。今年度は石手教員指導員、課題研究指定校研究支援等、校内研修支援を充実させる。	689	687	0
3 子どもの読書活動推進事業	大阪府の子育て支援リーディング事業の補助金を活用して、平成24年～26年度の3年計画で取り組んだ読書活動を継続して推進する。平成25年度から育成している「本のソムリエ」プロジェクトに加え、特に保護者、地域を巻き込んだ啓発のためのイベントや講演会を実施する。	289	327	327
4 学力向上事業	学力向上の推進を行う。また、公民館を活用し「中学生まなび舎教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。さらには、小中連携を推進するための研究を行う。	427	716	0
5 エネルギー教育支援事業	エネルギー教育の充実のための環境整備の推進や理科実験教室を実施し、学ぶ意欲の向上を目指す。	986	897	897
6 道徳教育推進指定事業	府の道徳教育推進事業の推進指定校として本町の豊能小学校において、「特別の教科 道徳」に向けた研究および指導力向上のための取組を進め、道徳教育の充実と推進を図る。	0	300	300
7 研究開発学校指定事業	文部科学省の教育研究開発事業の趣旨をふまえて、委託を受け、研究開発校として発達の段階に応じた学校段階間の連携による一体的な教育課程の構成及び実施、指導方法等について研究開発を行う	0	962	962
8 小学校社会科副読本改訂事業	学習指導要領の目標に沿った教育を推進するため、町立小学校第3、4学年の児童が使用する社会科副読本「わたしたちのとよの上・下」を点検し、改訂版を作成して全小学校3、4年生に配布する。	0	1,830	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 町教科教育研究会を定例で6回、全体会を3回、定例外部会9部会を開催し、授業改善や指導方法の工夫の研究、小中連携、小中連携の機会を提供できた。
- 夏季教職員研修：児童生徒理解、授業力向上、道徳、外国語、学校組織運営、幼小小連携等の主題で10講座開催し、町外からも合計61名の参加者があった。町教職員研修指導員派遣事業で2校に指導員を派遣し、講師を含む経験の浅い教員の支援を行った。
- 本のソムリエ認定講習会では15人の小中学生が参加した。「とよのまつり」には6人の本のソムリエが出演した。各学校では学級活動や図書館行事等でソムリエたちの活躍の場を設けた。
- 中学校「自学自習まなび舎」の実施回数及び参加延べ人数…西地区（44回 420名）、東地区（33回 417名）

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の小規模化（単学級化）</li> <li>教員の世代交代</li> <li>児童生徒の多様な課題</li> </ul>
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学習に対する意欲・関心の向上</li> <li>就学前教育も巻き込んだ保・幼・小・中一貫教育の推進</li> <li>児童生徒の多様な課題</li> <li>学校の適正規模の再配置構想</li> </ul>
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

- 豊能町学力向上プラン（授業力向上・全校的、組織的な学力向上の推進・ICTの活用研究・学習習慣・規律の育成）の実施。
- 幼小小中一貫教育推進（担当者会、全体研修会、各種校園の連携）。
- 「放課後まなび舎」の内容の充実（学習アドバイザーの増員および方法の工夫）。
- 今日的な課題に即した教職員研修の充実。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 167p

大事業名	学校運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画		[その他]	

1.概要

事業内容	保護者地域の信頼に応え、家庭地域と連携して教育活動を展開するための学校運営を円滑に進める
対象	学校（管理職・教職員）、地域、保護者
意図・目的	学校等協議会の適切な実施及び管理職のための研修実施

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 学校運営事業	学校は、保護者や地域の信頼に応え、家庭・地域と連携して教育活動を展開する。	244	258	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

学校園所協議会：計画的に年間3回以上開催。行事や取組の参観や保護者等への自己診断結果をもとに学校運営について協議できた。自己診断の結果に対する意見を各協議会で集約し、学校だよりやHPで公開。学校運営の総括に活かすことができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	有	スクールリーダー（学校管理職等）の不足	教職員の世代交代
	有	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	有	学校等協議会委員に適する人材の確保	地域住民の高齢化
	有	無		
	無	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

○地域とつながる学校体制  
○ミドルリーダー研修

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 167p

大事業名	人権・地域教育充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	人権尊重意識の高揚		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		[その他]
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	子どもたちが安全で安心して生活できる地域社会の創造と人権教育の充実を図る
対象	児童生徒、保護者、地域、学校（教職員）
意図・目的	地域との連携による人権教育の推進や学校教育・保育の充実

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 人権・地域教育充実事業	地域の文化拠点としての学校、所園づくりを推進し地域の教育力による学校、所園の教育・保育の活性化。 人権教育・保育推進のための研修を充実させ一人ひとりが輝く教育・保育の推進、充実を図る。	511	513	0
2 教育コミュニティづくり推進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部事業」を発展させることにより、学校支援活動を充実させ、学校教育の充実を図るとともに、地域の教育力の向上を目指す。	1,299	1,299	855
3 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダー（SG）として委託する。スクールガード・リーダー（SG）は、各小学校区を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、安全見守り隊（地域ボランティア）に対する指導等を行う。	256	400	266
4 いじめ問題等対策推進事業	いじめ防止対策推進法に則り、いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。	839	1,589	1,589
5 人権教育研究推進事業	学校、家庭及び地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを推進し、地域全体で人権意識を培うための人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい教育の充実について実践的な研究を行う。	199	180	179

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

1. 吉川中学校区において9月にふれあいのつどいを開催し、子どもたちと地域の大人、学校と地域の交流の場となった。豊能町人権教育研究会を支援することで、各園・所・学校での人権教育の推進や教職員の人権意識向上の研修・研究を推進した。
2. 学校支援地域本部事業における地域人材の活用：小学校…登下校・授業・総合学習等へのサポート、中学校…行事・環境整備へのサポート。小学校の放課後の居場所づくり「放課後わくわく教室」の実施回数…東能勢小(110回)、吉川小(78回)、光風台小(91回)、東ときわ台小(114回)
3. 4小学校を年間74日、朝と下校時にスクールガードリーダーが巡回して、児童の登下校を見守った。
4. いじめ問題等未然防止のために、学校等支援指導員を、1中学校、3小学校に延べ8名合計308回配置した。
5. 人権教育研究校研究発表会開催し、実践報告集を作成できた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	進捗管理	有	いじめを許さない人権意識の高い児童生徒の育成	子どもの発達過程に応じた適切な指導 地域の高齢化
	事業内容	有	地域ボランティア人材の確保	
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	学校等のニーズと地域ボランティアの方の支援体制が適合するような体制づくり。	管理職、教職員の世代交代
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

- 教職員の児童生徒理解と適切な指導への支援
- 挨拶運動や見守り巡回での呼びかけ。チラシ配布。各単位PTAでの呼びかけ

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 167p

大事業名	児童生徒健全育成充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	青少年の健全育成		
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		[その他]
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	個別の支援が必要な児童生徒のニーズにあった教育の実践
対象	個別の支援が必要な児童生徒
意図・目的	どの子も伸びる可能性の追求と支援の必要な児童生徒の教育権の保証

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して専門分野の講師を招いて巡回相談を実施し個に応じた授業を充実させる。	874	995	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

特別支援会議8回、専門職派遣による巡回相談（言語聴覚士25回×2人、作業療法士22回、理学療法士9回、発達心理士の研修及び発達相談6回）の実施により、支援の必要な児童生徒の保育教育の充実に努めた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有	児童生徒の特性や課題の早期の見立てと適切な手立て	多様で複合的な課題の増加
事業内容	有			
費用対効果	無			
中長期的な課題	進捗管理	有	支援者、専門職の増員	課題に対する教員の人員不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

○専門職を交えた研修の充実

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
 決算書 167p

大事業名	幼児教育・保育の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		安心して子どもを産み育てやすいまちだと思割合 70%
	施策	幼児教育の推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		[その他]
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			

1.概要

事業内容	子どもを取り巻く社会状況を踏まえ、子どもの発達に即した保育・教育を行うとともに、小学校への円滑な接続が行えるよう研究・研修を深める。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 幼児教育・保育の充実事業	・特色ある豊能町の就学前保育・教育の充実のため、保育士・教職員の保育・教育力の向上を推進する。	174	185	164

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究指定制度を設け、大学の協力を得て、研究保育（12回）を実施した。</li> <li>・主体的に研究活動に取り組み、豊能町保育研究会（12回）において運動カリキュラムの作成を行った。</li> <li>・幼児と児童の交流活動（36回）や教諭・保育士と小学校教員の意見交換（18回）を計画的に実施した。</li> <li>・事故・防犯・安全対策や感染症など危機管理マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて定期的に指導及び訓練を実施した。（避難訓練：36回・防犯訓練：8回・交通安全指導：9回）</li> <li>・子育てに関する各種講座の開催や相談事業の取組を実施した。（保護者向け講演会：4回）</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	保幼小中一貫教育の連携
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	有	保幼小中一貫教育の連携
	事業内容	有	
	費用対効果		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場の研修体制を充実させ、研究や実践の推進を図る。</li> <li>○幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の平成30年実施に伴い、豊能町保幼一元化カリキュラムの見直しを平成29年度に実施する。</li> <li>○保幼小中一貫教育推進委員会にて、体制を整え、計画的に実施する。</li> <li>○職場研修の充実と外部研修の確保をする。</li> </ul>
--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 教育支援課  
決算書 167p

大事業名	子育て支援環境の充実事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		安心して子どもを産み育てやすいまちだと思 う割合 70%
	施策	子育て支援環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実			安心して子どもを産み育てやすいまちだと思 う割合 70%
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画			[その他]

1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	子育て世帯及び全住民
意図・目的	子育て不安の解消、育児負担の軽減・親子の基本的信頼関係の構築・キャリア教育の充実（産み育てる次世代の若者育成）

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 児童虐待防止対策事業	児童虐待のない社会をめざし児童虐待防止対策の取組を強化する。また、児童の安全確認のための体制整備を構築するとともに養育困難な家庭に対して養育支援訪問等を行う。	631	580	580
2 子育て支援環境の充実事業	地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各課連携事業を実施し「育児の日」の取組を進め安心して子育てができる環境作りのために次世代子育てネットワークづくりの取組を進める。また、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス等の視点から父親の育児参加についての取組を行う。	647	720	720
3 子育て支援地域交流充実事業	幼稚園・保育所・こども園・子育て支援センターが地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ、交流事業等を積極的に実施し、幼児教育・保育のセンター的役割を果たすことで、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。	677	781	595
4 障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を保育所、幼稚園、小中学校等に定期的に派遣し、発達障がいを含む障がいのある児童生徒に対する指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。	1,414	1,448	1,370
5 放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。	1,682	1,732	1,603

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職の臨床心理士を配置や養育支援訪問を実施することで、要支援家庭に対応することができた。（心の相談：16件・養育支援訪問：2件）</li> <li>・育児の日を計画的に実施することができ、多世代にわたる参加となった。（12回）</li> <li>・就学前施設や子育て支援センターが交流事業などを積極的に実施した。（就学前施設：48回・子育て支援センター：21回）</li> <li>・発達障害のある児童生徒に対して、専門知識を有する巡回相談を学校園所に派遣し、指導及び支援方法の具体化をした。（52回）</li> <li>・小学校の余裕教室を活用し、学習や様々な体験をすることができた。（12回）</li> </ul>

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	放課後子ども教室の対象学年の格差	学校によって参加対象や学校支援ボランティアの違い 学校支援サポーターの高齢化と減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	人員確保	学校支援サポーターの高齢化と減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○定期的に放課後子ども教室の連絡会を開催するなど子育て家庭を支援するための環境を整える。
--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 183p

大事業名	生涯学習推進事業	項 目			
		教育費	社会教育費	社会教育総務費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり			関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実			
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進			
	総合戦略				
個別計画					

1.概要

事業内容	市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、学習活動を推進する。
対象	住民、各種社会教育関係団体。
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 生涯学習推進事業	社会教育委員会に問題点を諮るとともに地域における社会教育・生涯学習の普及に係る事業の企画・実施を行う。	1,296	1,335	14

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等（登録団体数62）及び公民館使用団体（登録団体数277）の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容の紹介冊子を作成し、これから活動を始めたいと思っている方への情報提供を行った。

○高齢者を対象とした「ウグイス大学」を開催（全8回、延べ362名参加）。行政の手を離れた運営委員会による企画運営で、自主的な取り組みによる事業が実施できた。

○『生きてるだけで、笑ってるだけで幸せや』バリバラ～障害者情報バラエティー～司会者山本シュウ氏を講師に迎え、障害をかかえておられる方々の理解を深め、さまざまな思いや考えをもっておられる方々との「共生社会」をいかに発展させていくかという学びの場を提供する。

○実行委員会による文化展（2日間）の開催（出展者数355名、作品数551作品、主要部屋来館者数1372名）

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無	社会教育関係の団体の活動は活発であるが、団体間の相互の連携が十分でない。
事業内容	有		
費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	学校教育との連携の推進 学校教育と社会教育（生涯学習）との課題の共通認識が十分でない。
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

**B**

A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

魅力ある事業を展開する。  
社会教育団体間の相互交流の推進を図る。  
学校教育との課題の共通認識を図り、連携を深めていく。



H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 185p

大事業名	青少年健全育成事業	款 項 目		
		教育費	社会教育費	青少年対策費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		青少年健全育成事業の参加者数 300人
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	個別計画			[その他]
総合戦略				

1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年の健全育成を目指した事業等の取り組み。 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取り組み。
対象	町在住の青少年
意図・目的	青少年の健全育成。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 青少年健全育成事業	・青少年の健全育成を目指した事業等の取組 ・青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取組	2,146	2,119	48
2 音楽ふれあい事業	オオサカンによる小中学生を対象に演奏会を実施する。	1,000	1,000	1,000

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○夏休みに小学生対象の講座を開催した(4講座開催、参加者75名)。豊能町内の公民館で活動されている団体に講師を依頼し、こどもたちと一緒に夏休みならではの時間を過ごす。集う・伝える・知る・作るといった時間と空間を共有することにより、年齢を超えたつながりを育んだ。テーマは「作る・造る・創る」。

○平成29年成人式を1月9日に開催(対象者数214名、参加者190名)。太鼓組「爽風」のこども達による太鼓の生演奏から始まり、穏やかに式が執り行われた。式の中で、「新成人へのメッセージ」として卒業アルバムや当時の担任の先生のインタビュー等を編集したスライドショーを行っており、好評を得ている。

○小学生が自然とのふれあいを通して、環境や食について考える機会の提供と交流を深めるための事業として、青少年指導員会主催で「森と遊ぼうII」を開催した(参加者86名)。

○青少年指導員とともに、町内コンビニエンスストアや書店での青少年有害図書の陳列方法、販売の調査指導を行った。

○町連合子ども会主催で年間2事業を行い、単位子ども会の交流と子どもの健全育成を図った。

夏休みキャンプ(参加者50名)、スポーツ大会(参加者54名)

○土曜日の教育支援として、児童生徒と社会教育関係団体・公民館利用団体との交流を図り、各団体は子どもの活力や感性に驚き、日頃の活動では得られない満足感を感じることにより、次への活動に生かすことへとつながることとなった。また、こどもたちは、経験を積む大人たちの指導に触れ「学び」を考えるきっかけとなった(参加者30名)。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	青少年対象事業参加者の二極化	児童生徒数の減少と児童生徒の活動の多様化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	子ども会の存続	少子高齢化による児童数の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

今後見込まれる青少年の人口数に対応した事業の実施。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 187p

大事業名	西公民館管理事業	項		目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯学習の推進		[その他]
	総合戦略			
個別計画				

1.概要

事業内容	生涯学習施設（西公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理
対象	利用者
意図・目的	住民活動の場の提供

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 西公民館管理事業	・生涯学習施設(西公民館)の適正及び効率的・効果的な維持管理	8,088	8,190	3,796
2 西公民館買替備品事業 (100万円未満)	・生涯学習施設(西公民館)の適正及び効率的・効果的な維持管理	0	158	0
3 西公民館非常用放送設備設置事業	・生涯学習施設(西公民館)の適正な維持管理	0	398	0
4 西公民館消防用設備（火災報知機・誘導灯・取替）更新事業	・生涯学習施設(西公民館)の適正及び効率的・効果的な維持管理	0	125	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>○生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。</p> <p>○会議等に用いるマイクアンプを新規に購入した。</p> <p>○火災等の緊急時に対応する非常用放送設備設置のため、設計業務を行った。</p>
--

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	有	有		
	有	有		
中長期的な課題	有	有	公民館施設自体の更新	施設の老朽化による
	有	有		
	有	有		

5.総合評価

D	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>優先順位を設け、段階的に設備の更新を行う。</p>
------------------------------

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

生涯学習課  
187p

大事業名	中央公民館管理事業	目		
		款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯学習の推進		
総合戦略				[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	生涯学習施設（中央公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理
対象	利用者
意図・目的	住民活動の場の提供

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 中央公民館管理事業	・生涯学習施設（中央公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理	4,851	4,843	618
2 中央公民館キュービクル更新事業	・生涯学習施設（中央公民館）の適正な維持管理	0	756	0
3 中央公民館非常用放送設備設置事業	・生涯学習施設（中央公民館）の適正な維持管理	0	2,597	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>○生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。</p> <p>○施設老朽化に伴うキュービクルの更新のため、設計業務を行った。</p> <p>○火災等の緊急時対応のため、非常用放送設備の設置を行った。</p>
--

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	進捗管理	有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	公民館施設自体の更新 職員体制の充実	施設の老朽化 非常勤対応のため事業に対する判断が困難
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

D	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>優先順位を設け、段階的に設備の更新を行う。</p> <p>職員体制の見直しを図る。</p>
--

## H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 187p

大事業名	款		項	目
	教育費		社会教育費	図書館運営費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			
個別計画				

### 1.概要

事業内容	町立図書館の適正な運営
対象	利用者（町民、本町在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	利用者のニーズにあった資料の充実やサービスの提供に努め、利用者の増加を図る。また、学校や幼稚園、保育所をはじめとする他部局との連携も活用した生涯学習支援、子育て支援を推進する。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 図書館運営事業	図書館サービスの向上をはかり質を高めるとともに全域サービスの充実をはかる。又、子育て支援のさらなる推進及び高齢化利用者対応のため講座等を時宜に合わせて開催する。	3,723	8,504	26
2 子育て支援事業	子育てや、読書・学習支援に役立つ、各年齢に合わせた図書、雑誌、視聴覚資料等を購入し必要な情報をタイムリーに提供することで、子育て支援関連の事業の推進を図る。	698	698	698
3 消費者行政推進事業	消費生活行政に関する図書、雑誌、視聴覚資料を購入し必要な情報を提供することにより、消費生活行政関連知識の普及、教育の推進を図る。	200	50	50
4 図書館システム更新事業	図書館コンピュータシステムの更新 (旧システムの契約の平成29年1月の満了に伴い更新を実施)	0	2,019	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○主な実績数値 開館日数：図書館286日・中央公民館図書室288日 貸出人数：55,742人 貸出冊数：203,546冊 有効登録者数：8,166人 一人あたり貸出冊数：10.01冊 講座実施回数 116回・延べ参加人数 1,613人 展示計37回 本のテーマ展示88種類
○主な実施事業 町制40周年・図書館開館30周年記念事業「思ひ出アーカイブ」実施（平成29年度完了予定） 図書館コンピュータシステム更新 補助金を活用した子育て支援事業、消費者行政推進事業の実施

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	利用者数が減少し続けている。 少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多種多様化
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	現状ではさらに利用者の減少が考えられる。限られた人員、経費で、より計画的に、魅力ある事業の構築に努めなければならない。 少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多種多様化 人員や各種経費の削減
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

### 5.総合評価

<b>C</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

### 6.改善の方向性

<p>利用者の多種多様化するニーズを的確に調査・把握し、魅力ある事業の実施に努め、利用者の増加を図る。また、限りある経費の中でより効率的に図書館を運営するため、事業の実施や蔵書の適正な管理、資料の更新等について中長期的な計画を策定し、計画に則って事業を推進する。</p>
---

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 189p

大事業名	図書館管理事業	款 項 目		
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯学習の推進		
	総合戦略			
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	町立図書館の適正な維持管理
対象	利用者（町民、本町在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	利用者の安全性、利便性を考慮し、図書館施設を適正に維持管理することで、利用者が快適に利用できる環境をつくり、図書館の利用をとおした生涯学習の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 図書館管理事業	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた、施設の適正な維持・管理	4,706	4,733	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>施設の修繕については、利用者の安全性、利便性を考慮し、危険度、緊急度が高いものを優先的に実施した。</p> <p>○施設維持管理に要した主な経費</p> <p>光熱水料費（電気、ガス） 2,598,685円</p> <p>修繕料（洗面台、誘導灯、玄関上部ガラス、ブラインド） 227,016円</p> <p>業務委託料（施設維持管理：清掃、空調・自動扉等機器保守、除草・剪定、機械整備） 1,787,400円</p>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	開館から30年以上経過したことによる施設の老朽化
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	開館から30年以上経過したことによる施設の老朽化
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

D	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>将来的な建替えも視野に入れた上で、優先順位を的確に考慮した中長期的な計画に則って施設の修繕や更新等の維持管理を実施する。</p>
---

## H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 189p

大事業名	ユーベルホール管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	文化・芸術の振興		町有施設の長期的なマネジメントにかかる計画の策定数 7計画
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

### 1.概要

事業内容	ユーベルホールの施設の保守管理運営と施設整備
対象	ユーベルホール利用者
意図・目的	施設内外の多様な設備の保守管理や整備を行うことにより、貸し館や協力・連携事業をいつも良好な環境下で実施する。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 ユーベルホール管理事業	多種多様の施設設備の保守管理運営	35,305	35,376	35,375
2 舞台機構大扉用カンヌキ修繕事業	舞台機構の横反響板回転脚用ジャッキのストッパーの欠落から大扉のかん抜きが変形しているため、舞台装置の不具合を修繕する。	0	59	0
3 ユーベルホール修繕事業	施設の老朽化に伴い生じている不具合箇所の修繕を実施する。	0	426	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の老朽化に伴い生じている不具合箇所の修繕を実施する。 施設の保守管理を他の施設と一括で委託し、経費を抑制する。
--

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	施設の老朽化による修繕箇所の増加と維持管理費用の増加
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	大規模な改修の必要性
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

### 5.総合評価

D	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

施設の管理業務の複数年委託（債務負担）を検討する。 長期的な修繕計画を立てる。
--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 191p

大事業名	文化振興事業	款 項 目		
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	文化・芸術の振興		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	豊能町の文化の交流・振興の拠点施設を目指して、また、町内の活動団体の発表の場として、ホールやロビーを利用した住民交流の場として運営する。
対象	町民及び文化芸術鑑賞されるもの
意図・目的	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持ち、ホールへの事業参加や施設の活用を促し文化振興を推進する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 文化振興事業	主催事業、連携協力事業、ロビーコンサートを実施。また、文化ホール運営協議会を再開し適正な運営を図る。	6,683	6,750	6,750

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○ユーベルロビー登録者制度により町民を主体とした音楽による年間12回のロビーコンサート（延べ546名来場）を開催。音楽を通じた交流と発表機会の提供、文化ホールを拠点とした文化芸術の振興へ寄与した。  
○町内文化推進団体との連携により、「とよの・家族と楽しむ落語の世界（143名来場）」や「ユーベル寄席（474名来場）」を実施した。  
○NHK大阪放送局との共催で、「NHK公開講演会・メアリー・カサット展(237名来場)」を実施した。

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	事業内容	
現状の課題	無	文化芸術事業への住民の自主的活動団体の育成	少子化による、サークル活動や音楽教室などの減少
	有		
	無		
中長期的な課題	無	住民参加型の事業実施	リーダーとなる人材不足とコーディネーターの育成
	有		
	無		

5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

町民活動や協定団体を支援することを中心に行う。

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

生涯学習課  
191p

大事業名	文化財保護事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		地域の歴史や文化が住民に継承されていると思う割合 30%
	施策	文化・芸術の振興		
総合戦略				[総合戦略(目標年度H31)]
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査、保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財の調査、保全により文化財を後世に伝える。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全・寺社調査、石造物調査	64	54	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

文化財保護委員会の開催
-------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	無	町内文化財の情報、文化財発掘調査技術の継承	適正な人員配置計画がない。
	無	有		
	有	有		
中長期的な課題	有	有	町内に所在する未調査文化財（古文書、有形・埋蔵文化財）の把握と適切な保護措置、文化財担当職員の育成	将来を見据えた人員配置計画がない。
	有	有		
	有	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

文化財を活用し町民の生活を豊かにすることで、文化財への意識を高揚させていく。 将来を見据えた人員配置計画を策定する。
---



H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 191p

大事業名	郷土資料館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	文化財保護費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	文化・芸術の振興		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	郷土資料館の適正管理
対象	住民、近隣住民、豊能町に興味のある方
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設として適切な運用と適正管理

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正管理	156	154	27

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>○来館者総数は1年間を通して533名であった。</p> <p>○豊能町内小学校の社会科・総合的な学習の時間の地域学習に貢献した。</p> <p>○豊能町の昔の生活の伝播と文化財の保護を行った。</p>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	施設の修繕などが必要 施設が老朽化している
	事業内容	有	
	費用対効果	有	
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の移転等が必要 防火・防犯等の面で貴重な文化財を適正に保管する施設機能を有していない。
	事業内容	有	
	費用対効果	有	

5.総合評価

D	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<p>「関西文化の日」へ参加することで、広く・強くアピールをして郷土資料館への関心と来館者数を増やす。</p> <p>施設の移転等の計画を策定する。</p>
--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 193p

大事業名	体育施設管理事業	項 目		
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		広域で相互利用が実現している公共施設数 2施設
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント			[その他]
個別計画				

1.概要

事業内容	各体育施設の適正な管理・維持(・スポーツ広場 ・ふれあい広場 ・野間口青少年総合スポーツセンター)
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	町民一人一人、また各種団体の活動の場として利用しやすい施設を維持し、住民の体力増進に寄与する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 体育施設管理事業	各施設の管理・維持 ・スポーツ広場 ・ふれあい広場 ・野間口青少年総合スポーツセンター (財政健全化により、自主的運営及び廃止に向け、28年度は準備期間)	4,250	3,971	2,196

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

○ふれあい広場、スポーツ広場、野間口青少年体育センターの施設利用や管理が適切に行われた。
○町民だけではなく、近隣市町の地域住民の利用もあり、住民の健康増進に寄与した。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	施設の適正な維持管理	施設の管理体制
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設や備品の老朽化・経年劣化の対策や施設の維持管理	施設の老朽化や備品の経年劣化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

適正な施設の維持管理計画の策定
施設維持管理の体制の見直し

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 193p

大事業名	シートの管理事業	款 項 目		
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		
個別計画				

1.概要

事業内容	シートの指定管理制度による適正管理業務
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康管理を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 シートの管理事業	平成19年度より、1期5年間で指定管理を導入 24年度から28年度まで、2期目 指定管理料の委託により、民間活力導入により、効率的な運営を図る。	47,741	48,301	552
2 シート体育館系統空調3方弁修繕事業	アリーナ棟1階系統空調設備の3方弁故障により、自動温度調節ができない状態であるため、効率的な運転を図るため。	0	1,080	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減による総利用者延べ 前年度比 6137人減</li> <li>27年度収支 2,708,303円 黒字 28年度収支 2,523,549円黒字</li> <li>民間活力によりサービスの効果効率を図り、一層の健康増進が図れた。</li> </ul>
--

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	将来的に見込まれる利用者数の減	町民の人口減少及び高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化による 計画的な予算化</li> <li>多種多様な住民ニーズに対する早急な対応</li> </ul>
--

H28年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 193p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	項 目	
		教育費	保健体育費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)] 生涯スポーツ事業の参加者数 700人 [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	学校体育施設の開放・真面新町妙見山麓マラソン大会、スポーツてんこ盛りの開催・各種スポーツ教室の開催・スポーツ施設の運営 等
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	誰もがいつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめ、自分にあった生涯スポーツを見つけることができるような事業の展開を行うとともに、自主的に活動できるよう支援・育成し、町民の

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H27決算	H28決算	うち特定財源
1 生涯スポーツ推進事業	様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供し、地域における生涯スポーツの振興を図る。	2,463	2,397	84
2 学校開放事業	学校体育施設を開放し、健康増進と体力づくりの場を提供する。	0	367	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

「第9回真面新町妙見山麓マラソン大会」を開催。大会が定着し、盛大に行われた（申込者数1,292名、当日受付者1,144名）。町民ゴルフ大会を年2回開催。運営も実行委員会で自主的に行われており、住民主体の大会として、幅広い年齢層の住民交流の場として定着した。

スポーツ推進委員会主催事業、4事業 トレッキング教室「豊能町を知ろう」（37名）、サイクリング教室（30名）、スポーツてんこ盛り（43名）、フロアカーリング大会（12チーム 47名）、」を開催した。様々な年齢層の方々に参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図ることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定	
	進捗管理	無	高齢者のスポーツ人口の増加に伴うニーズへの対応	多種多様なスポーツの増加 交通量の増加及び救急体制の確保
事業内容	有	妙見山麓マラソン大会における走路確保		
費用対効果	有			
中長期的な課題	進捗管理	無	今後見込まれる人口数に対応したスポーツの実施	人口減少による
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

さまざまな世代の方が気軽に参加できるスポーツ事業の展開を図るとともに、個々のスポーツにおける適切な受け入れ先の紹介を行う。

少人数でも、また、高齢者でも取り組むことができるスポーツの普及を図る。

妙見山麓マラソンの抜本的な見直しを図る。

